

天の贈り物。活用の検討を  
吉川第2最終処分場問題。

伊藤 正勝



**問** 吉川第2最終処分場は2年以上使用中止。東京ドーム球場を上回る広さ。現況の説明を。

**答** 8月に地元関係者への説明会。使用中止の理由や今後について協議した。

**問** 旧第1処分場の跡地利用の実状は。

**答** 2万800㎡のうち1万6千㎡は美南の公園用地。残りは吉川美南消防署の敷地に。無償で借り費用負担はない。

◆吉川のPCR検査の実状は

**問** 吉川のPCR検査の実状は。

**答** 吉川・松伏医師会の協力で5月22日から「行政のPCR検査センター」を開設。8月から隔週3回に。医師が必要と認めた人が対象。9月14日現在212人を検査。陽性者は8人。検査施設は間仕切り。消毒の徹底等安全衛生につとめ、検査関係者は防護服や専用マスク。ウォークスルー方式で万全を期している。検査専用車は借りることに。民間病院の検査状況は公表がなく把握していない。

越谷総合公園川藤線整備と  
地域の生活道路整備促進は

松崎 誠



**問** 東埼玉道路から新川橋まで道路整備の促進と新川橋の橋の架け替えは。

**答** 東埼玉道路の自動車専用部の新規事業化や当市の川藤から松伏町田島までの一般部側道延長約3.8kmの共有部分が公表され東埼玉道路の整備効果を最大限に生かすためにも早期事業化が図れるよう関係機関と情報交換を進めると共に、整備に向けた調査や検討を進めていきます。また、新川橋の架け替えについては、橋の構造基準の見直しがあり大幅な改修や架け替えが必要と考えています。全体的な整備計画を検討する中で事業費の把握に努めていきます。

**問** 調整区域内の道路事情と道路舗装整備は。

**答** 道路の補修に関して年間で約700件の要望に対して、現地の確認や道路パトロールによる目視点検を行うと共に路面整備の調査を行い、数値による破損状況の把握を行います。舗装の損傷が目立つ路線においては損傷の程度を見極め、必要に応じて緊急な措置を講じます。破損が徐々に進行している場合には道路管理瑕疵事故に発展することが無いよう、破損個所の舗装修理工事を発注する中で対応していきます。

三輪野江地区農地保全エリ  
アの住民意思を問う

吉川 敏幸



**問** 現在の第五次総合振興計画に無い三輪野江地区の区分け。この三輪野江地区120haのうち、農地保全エリアの地権者のうち意思表示をしている賛成・反対の詳細を問う。

**答** 46世帯中38世帯から回答があり、賛成者はゼロ。

**問** 千葉大学からの吉川市農業の新展開に関する提言書を実現するための課題は何か。

**答** 生産者自身が果樹等の高収益な作物に事業転換を図るという考え、気持ちに持っていただけるかどうか。

**問** 高収益の作物への転換は多額の初期投資が掛かる。そういったところへの支援は市として、どう考えているのか。

**答** 千葉大学からの提言書の内容に基づく支援策はまだ出来上がっていない。こういった支援が出来るのかしっかりと検討していきたい。

◆持続可能な農業への市の計画を問う

**問** 人・農地プランの作成のスケジュールは。

**答** 今年度に旭地区、来年度に三輪野江地区、令和4年度に吉川地区のプランを作成する予定。

東埼玉道路専用部の  
アクセス道路整備計画は

遠藤 義法



**問** 国土交通省は今年4月、東埼玉道路に専用道路を20年度に新規事業化することを発表した。須賀・榎戸地域の越谷総合公園川藤線と交差する地点にインターチェンジが計画されている。①越谷公園川藤線の整備計画、三郷吉川線のT字路までの工事スケジュールと事業主体は。②アクセス道路である三郷吉川線（さくら通り）の関小学校から以北の事業化は。

**答** アクセス道路等について国・県や沿線自治体で整備調整会議が立ち上がったので、財源を含め具体的協議に入る。越谷吉川線についても、埼玉県と事務レベルで協議に入っている。

◆加入者負担のない県の国保運営方針に

**問** 埼玉県は、令和3年度から5年度までの国民健康保険運営方針を決めた。①保険料水準の統一を図るとしているが市の見解は。②大幅な公費投入が行われないと保険料率の引き上げにつながるのか。

**答** ①県内自治体は、統一する理念は一致し、段階的にすすめるため丁寧に協議している。②国からの公費の維持と拡充を求めていく。